



サー キュ ラー オオサカ

Circular OSAKA

血液センターニュース

2022
Autumn
vol.313

大阪府赤十字血液センター 公式Facebook



大阪府赤十字血液センター 公式Twitter



気象予報士 片平敦さん

大阪府赤十字血液センター 献血推進大使就任式



Topics

気象予報士 片平敦さんが
献血推進大使に就任されました。

マンガで けんけつちゃんの献血リポート
わかる!! 事業所での献血

ひろがれ 献血の輪!
なかべたくと
大阪公立大学2回生 中部拓斗さん

●プレゼントコーナー

●健康レシピ おちゃのこ菜々『いわしとじゃがいものトマト煮』

●血液センターからのお知らせ

●編集後記



大阪府赤十字血液センター

日本赤十字社

人間を救うのは、人間だ。



気象予報士 片平敦さんが 献血推進大使に就任されました

令和4年6月20日、気象予報士の片平敦さんが大阪府赤十字血液センター献血推進大使に就任されました。防災と献血には相通じるものがあると話される片平敦さんに献血広報大使に就任された感想などを伺いました。



Q. 献血推進大使に就任された感想や意気込みなどをお聞かせください。

A. 身の引き締まる、襟を正す思いです。少しでもお役に立てればいいなという思いで献血に参加するようになりましたが、皆さんに献血を知っていただく立場をいただきて、もっとお役に立てればと思います。



Q. 献血の必要性についてSNSで発信していただいていると伺って
います。ですが、フォロワーの方々の反応などはいかがですか？

A. SNS、ツイッターでは「私も久しぶりに行こうかな。」や「行ったことがなかったが行きました。」との反応があります。防災も献血も、とても大事なことだけれど特別なことで、何か機会がないとやらない、いいことだとわかっていてもよくわからないからやめておこうか、ということがあるかもしれません。そうではなくて、献血はもっと気軽にできる身近なもので、誰かの命を救うことができるということ、ぐるっと巡って自分に返ってくることがあるかもしれないということが当たり前の世の中になればいいと思います。

Q. 片平さんのポリシーは「人の命を守る」ことだとお聞きしました。
きっかけとなった体験などをお聞かせいただけますか？

A. 2011年に紀伊半島で台風12号による大水害がありました。自分の仕事は人の命を守る仕事ですが、もし自分の呼び掛けが心に響かず、避難できなくて犠牲になった人がいたとしたら、「僕の仕事って何だろう？」と思い、悔しい苦しい思いをしました。「もしかしたら、自分を見てくれていた人の命を救えなかつたかもしれない、もっともっと頑張らなくては」と感じたことから「人の命を守る」「人の命に寄り添う」ことが私のポリシー、立場の原点です。



Q. 献血推進大使としてやってみたいことや活動ていきたい内容はありますか？

A. 献血の必要性についてSNS、ツイッターで機会がある度に呼びかける、一日献血ルーム所長になる、番組内で紹介する、定期的に献血に行くこと等を行っていきたいと思います。



ひろがれ 献血の輪!

7/3実施の学推主催「サマー献血キャンペーン」に一緒に参加してくれた様子。



大阪公立大学2回生

なかべ たくと
中部 拓斗さん

Q:初めての献血は?

A:2018年12月に三宮センター街で。献血の呼びかけをしているスタッフを見て興味を持っていたのと、ちょうど乃木坂46の記念品もあって、自分にもできるちょっとした人助けかなという気持ちで行きました。針を刺す恐怖や緊張はありましたが、スタッフが疑問・質問に丁寧に答えてくれ、献血の重要性が理解でき、自分にもできることと乗り越えられました。



献血推進活動に力を貸してくれている個人ボランティアの中部さんにお話を伺いました。

Q:献血推進活動を通じて感じたことは?

A:以前、大阪府学生献血推進協議会*の献血の勉強会で知識を深めましたが、発表を通じ改めて人に伝えることの難しさを感じました。また、街頭での呼びかけ時は、事情により献血できない方でも、励ましの声をかけてくださるのが嬉しかったです。

Q:大阪公立大学でも、大学のV(ボランティア)ステーションとボランティアに関心のある学生の間で、献血推進活動の情報提供を行う橋渡しをされているとか?

A:ボランティアは自分にできることを、できる形で少しでもやることに意義があると考えています。医療・福祉系の学部の人々に、少しでも献血の重要性を広める輪が広がれば活動しています。

Q:10代・20代など、まだ献血経験のない方に一言お願いします。

A:怖い・痛いとかの先入観で判断せず、まずは献血に意識・興味を持ち、その上で判断してほしいです。現在、献血の安定確保のための課題として、若年層の継続的な献血協力が必要不可欠となっています。皆さん、ぜひご協力をお願いいたします。

* 大阪府学生献血推進協議会(学推):大阪在住または大阪の学校に通う学生が参加する献血推進ボランティア団体。特に減少傾向にある若年層の献血者を増やすため、キャンペーンの企画や主に献血バス会場での呼びかけなどの活動を行っています。興味のある方は学推HPをご確認ください。

